

と き 令和7年11月18日（火）

ところ 東部公民館 学習室

令和7年調布市公民館運営審議会
第6回定例会速記録

開会 午後 1 時58分

○稻留委員長 どうも皆さん、こんにちは。短い秋がもう去ってそろそろ冬というような感じですが、定刻となりましたので、ただ今から、令和 7 年調布市公民館運営審議会第 6 回定例会を開催いたします。

それでは、議事に入る前に定足数について、事務局から報告をお願いします。

○倉持東部公民館主査 本日、欠席の連絡はどなたからもございませんが、八田副委員長がまだお見えになっておりませんので、後ほど到着次第、入っていただけるものと存じます。

現時点において委員 9 人中 8 人の委員が御出席されていますので、調布市公民館運営審議会規則第 5 条に規定されている定足数に達している状況となっております。

以上です。

○稻留委員長 かしこまりました。それでは、定足数に達しているということですので、引き続き審議会を進めてまいります。

次に、本日の傍聴希望者の有無について、事務局から報告をお願いします。

○倉持東部公民館主査 3 名いらっしゃいます。

○稻留委員長 それでは、どうぞ、入室をお願いします。

(傍聴者入室)

それでは、傍聴の方も入室されましたので、お手元の資料の確認を事務局からお願いいいたします。

○倉持東部公民館主査 では、本日の資料の確認をさせていただきます。

まず、郵送で先にお送りしている資料から確認いたします。1 つ目、令和 7 年調布市公民館運営審議会第 6 回定例会の日程です。次に、資料 1、使用状況報告（令和 7 年 10 月分）です。次に、資料 2、事業報告（令和 7 年 10 月分）です。次に、資料 3、桐朋女子中・高等学校との地域連携（調布市青少年表彰受賞）です。次に、資料 4、令和 8 年度調布市公民館事業計画（素案）です。

続きまして、本日机上配付しております資料について御紹介します。まず 1 つ目、東部公民館の館内の案内図です。A4、1 枚のものです。次に、桐朋女子中・高等学校との地域連携に関する資料でありまして、A4 縦 11 枚物になっております。ここまでよろしいでしょうか。

机上に置いてあるものは以上でございますが、そのほか前回に続きまして、東部、西部、

北部の地域文化祭プログラムを説明の中で使用させていただきますので、もしお持ちでない方は、お声がけいただければと思います。

○下釜委員　　忘れました。

○稻留委員長　　では、皆さん、よろしいですか。

それでは、議事に入ります前に「公民館だより」の記録について、今回、遠藤委員にお願いします。

○遠藤委員　　前回スケジュールミスで大変失礼しました。

○稻留委員長　　よろしくお願ひします。

それでは、議事に入りまして、日程第1　報告事項　(1)使用状況報告　令和7年10月分について、丸山東部公民館長から説明願います。

○丸山東部公民館長　　それでは、令和7年10月分の使用状況について報告いたします。資料1をお願いいたします。

2ページの下から4行目、公民館ごとの合計欄を御覧ください。東部公民館は274単位、1,796人、西部公民館は165単位、2,765人、北部公民館は292単位、2,351人の使用がありました。3館合計で731単位、6,912人の使用でした。前年の10月と比較いたしますと、72単位、715人の増となっております。

前年度と比較した状況につきましては、新たに利用を開始している団体が継続して多く利用したことによるものなどです。

説明は以上となります。

○稻留委員長　　皆さん、何か御質問はございますか。

(「なし」の声あり)

では、特になければ、続きまして、(2)事業報告　令和7年10月分について、丸山東部公民館長から説明願います。

○丸山東部公民館長　　まずは東部から御説明させていただきます。

事業報告の前に、今定例会の会場である東部公民館の館内施設の御案内をさせていただきます。机上に配付させていただいた、こちらのほうを御準備いただければと思います。

御存知のとおり東部公民館は昭和50年6月に開館し、今年50周年を迎えた3館の中で一番古く、かつ館内は一番狭い造りとなっています。

老朽化が進む中、令和5年度はエレベーターが完成し、令和6年度は、館内の全室空調設備工事に加え、50周年に多くの市民が来館されることを想定し、また、東部公民館を利用

する団体からの要望などを踏まえ、優先順位を決めて館内の修繕等を財政課に粘り強く交渉した結果、300万円以上を使用し、修繕等をすることができ、利便性が大きく向上しております。

東部公民館、館内案内図を御覧ください。図に丸つき数字で10番まで付番しましたので、その番号順に御説明いたします。

①エレベーターは、長年の懸案事項で、常に要望が多くありました。複数年の年度をまたぎ、8,300万円余をかけて完成し、利便性が大きく向上しました。

②学習室は、館内で一番広い施設です。こちらの部屋になります。ピアノが設置されているので、音楽活動のサークルやプロジェクターを使用した講座で利用されます。室内の机は令和6年に全て新品に入れ替えていました。

③教材室は、事業で実施する椅子や脚立などの備品等があり、また、一部のサークルの備品が保管されています。

④会議室は、貸出図書を備えています。

⑤調理室は、料理をする団体の利用や人気が高い料理コンテンツを実施する際や、料理サークルで使用しています。

⑥回廊スペースは、ほかの部屋への動線である廊下ですけれども、館内が極小であるため、工夫して展示を実施するスペースとして活用しています。

⑦保育室は、保育付事業などを実施する場合に使用しています。

⑧和室（小）、⑨和室（大）は、令和6年度に畳を全て新品にしました。小には茶道で使用できる炉もあります。夏の時期は、最近はフローリングの部屋しかない家庭も多いことから、畳がある大きな和室を赤ちゃん及びその保護者に開放しています。また、通常は茶道、百人一首、囲碁など、イメージどおりのサークル活動のほか、ピラティスやヨガなど多種多様なサークル活動にも利用されています。

最後に、⑩屋上は、人工芝を敷き、ふだんは東部児童館に来館する児童たちに開放しています。

館内の説明は以上となります。

それでは、令和7年10月分の事業報告をいたします。資料2の1ページをお願いします。

成人教育、芸術鑑賞講座「女性画家たちの戦争体験とその芸術～いわさきちひろとケーテ・コルヴィッツ」は、戦後80年の節目に、日独の2人の女性画家の戦争体験とその作品を取り上げました。いわさきちひろは、子どもをテーマにした繊細なタッチの水彩画で知

られていますが、彼女に影響を与えた1人が20世紀後半のドイツを代表する画家、ケーテ・コルヴィッツ。2人の女性に共通するのは、子どもの無邪気な愛らしさを描いた作品です。戦争体験を通して、その思いがどう芸術に結晶されているかを2人の共通点と違いも含め、鑑賞しました。

参加者からは、「講師の先生のお人柄を感じさせるお話がとてもよかったです。単に画家についての話だけでなく、時代背景にも言及してくださいました。大変興味深く話を聞かせてもらいました」「先生の作品に対する分析に、ただただ驚かされました。今、紛争が続く世の中にケーテの思いが届くことを心より願っております」「今の世界情勢を思うとき、非常にタイムリーな御講演だったと思います。ケーテの絵は見たことがあります、ある意味でよいショックを受けたものです。ケーテの絵の背景にあるものは何か、ケーテの思いはなど、知りたかったのですが、堀尾先生の話でよく味わうことができました」「戦後80年に、こうした企画をしていただいたこと、ありがとうございました。ケーテの日記を読んでみたいと思いました」などと、内容も講師にも大変満足した意見ばかりでした。

公開学習会、東部地域文化祭、東部公民館50周年記念事業「あなたの元気はどこから？～人生100年時代の地域と公民館」は、元東部公民館長がファシリテーターを務め、東部公民館利用者から、利用し続け健康を維持する元気の源を聞き、後に聴講者も参加したグループワークを実施しました。

登壇していた利用者の1人は、現在、昭島市在中だが、この東部公民館で出会った人たちとの関係性が非常によく、毎回1時間以上かけて通い続いていると、大変ありがたいコメントもいただきました。

グループワークでは、なぜ東部公民館を知ったのか、サークル活動を続けているのかなどは、「知り合いに声をかけていただいた」「興味があって参加したら居心地がよかったです」など、お一人お一人がそれぞれの理由で長く利用しているとのことでした。

参加者からは、「あなたの元気はどこからの木村紀美代さん。人との触れ合いから多くのエネルギーを得ていることがとてもよく伝わってきました」「昭島からここまで来てくれることのモチベーションになっているのは、みんなと1つのことのことを行なうことが好きだから。これからも一緒にいろいろ楽しもうね。ラブユー」「今後に生かせる大切な経験をありがとうございました。とても分かりやすく、丁寧でよかったです」と高校生、こちらお孫さんだと思います。「木村さん、鈴木さん、丸橋さんの人生話をお聞きして、元気の秘訣を教えていただきました。私も楽しく生き生きした日を過ごせるように、今日の

お話を参考に頑張りたいと思いました」「つながりは大事ですね。共に創る共創は大事ですね。職員の方々、ありがとうございました」など、人生100年時代に向けたヒントや気づきが多く、実りある会となりました。

高齢者教育シルバー教室Ⅱ、東部公民館50周年記念「みんなを笑顔にするバルーンアート」と「みんなを笑顔にするシュロの葉で作る秋の虫」は、自分の周りの人を笑顔にするために新しいことに挑戦し、自身も楽しめるようにと全2回の講座を実施しました。

参加者が一緒に手作業をしながら会話で交流し、認知症予防にもなるとともに、東部地域文化祭、11月1日土曜日のミニサーカス観覧者を楽しませるイベントにおいて、受講者も楽しんで発表する機会とともに、地域還元をするために協力していただきました。

参加者からは、「バルーンをひねるのが怖いと思っていましたが、明るいようこ先生からの手順ごとのコツをお聞きし、やってみたら何とか徐々に慣れることができました」「基本的な作り方を楽しく学びました。孫にも教えたいと思います」「本当にすばらしい体験でした。シュロの葉の活用、先生のすてきなこと、皆様の感じのよいこと、本当に笑顔になれて実益のあるひとときでした」「初めての仙川。実篤公園もすてきでした。武蔵野市から参加してよかったです」「東部公民館50周年、本当に感心。おめでとうございます。今後の発展、継続を祈念します」などといったアンケートでした。

展示会、企画展Ⅲ、東部公民館50周年・調布市制70年「せんがわ地域の今・昔・写真・地図・人々」は、開館当初の昭和50年代及び市制施行の昭和30年代の仙川地域にフォーカスした写真や図、絵等を地域の方々に御提供いただき、展示しました。

観覧者からは、「昭和28年より住んでいる仙川の変わりを、懐かしく拝見させていただきました」「どちらもとても興味深く、歴史のあること、とても感心しました。ぜひ地図を参考歩いてみます」「私の住む地域とも崖線でつながっていて、丁寧な展示で意識が深まり、文化の質に感心しました」など、改めて仙川の歴史を知る機会となりました。

2ページを御覧ください。市民文化祭、東部地域文化祭実行委員会は、記載の内容が会議されました。

連携事業、地域連携事業VII「桐朋生が教えるキッズ・ダンス・レッスン」は、桐朋女子中・高等学校ダンス部の皆さんにダンスの基本を教わりました。東部公民館開館50周年記念イメージソング「Special Days」をダンス部オリジナルの振りつけて踊る楽しさを体感し、地域文化祭のオープニングイベントのトップバッターで発表しました。

会議及び広報は記載のとおりです。

東部公民館は以上です。

○稻留委員長 次に、福澤西部公民館長お願ひします。

○福澤西部公民館長 続きまして、西部公民館です。3ページをお願いします。

初めに、成人教育です。特別講演会として、アーサー・ビナード氏講演会「谷川俊太郎～死んだ詩人の残したものは？」を実施しました。谷川俊太郎の絵本を英訳するなど、同じ詩人として深く親交のあったアーサー・ビナードさんを講師に迎え、谷川俊太郎の言葉の力、絵本や詩に込めた平和への思いなどをお話しいただきました。また、多彩な作品の奥深くを探り、谷川俊太郎の魅力を改めて知る機会とし、さらに、私たちの母国語である日本語を見詰め直す機会とするため、実施いたしました。

会場は、たづくりの映像シアターとし、多くの方に参加していただき、西部公民館を知り、関心を持ってもらうきっかけとし、今後、西部公民館にも来館していただくことも期待して実施いたしました。

参加者からは、「心に響く言葉が数え切れないくらいあり、すばらしい時間でした」「話も楽しく、谷川俊太郎さんの世界にどっぷりつかった感じです」「とても豊かな時間でした。常識を吹っ飛ばす勇気をもらいました。言葉の力ってすごいですね」などの感想をいただきました。

次に、福祉講座として、「耳が聞こえないってどういうこと？ 聴覚障がいについて理解を深めるための目で聞くコミュニケーション」を実施しました。講師は、NPO法人東京盲ろう者友の会会員であり、御自分が聴覚障害者である石橋茜さんです。現在開催中の東京2025デフリンピックを契機に、聴覚障害者への理解を深めるだけでなく、私たちはどのように関わればよいのかなど、具体的にお話しいただき、知識の壁をなくす学習することを目的に実施いたしました。

参加者からは、「手話を勉強中です。講師の手話は分かりやすく、とても楽しい時間でした」「いろいろな障害を持ちながら生活している人がいることに気づきました。そして、自分ができることを考え、手話でコミュニケーションができるようになりたいと思います」などの感想をいただきました。

次に、成人学級です。まず、「ウェストガーデンきらら」は、文化祭に向けての準備を中心に活動を行い、文化祭本番では、玄関装飾及びドライフラワーのフラワーボックスを作る体験の公開講座を実施しました。公開講座では、会員の方々が事前に準備をした材料を使い、会員が作り方のアドバイスをしながら、作品を完成させていました。

参加者の様子としては、出来上がった作品を持って記念撮影するなど、満足している方が多かったと感じています。

このような体験教室は毎年とても喜ばれ、学級としてもうれしく、やりがいがある内容であるとともに、新たなメンバーを増やす絶好の機会と捉えており、今回もまだ正式に入会とはなっていませんが、入会希望者が複数あったと報告を受けております。

次に、「いのちの楽校」は、9月に実施したSNSに関する公開講座について、受講しての感想やアンケートの集計などによる意見交換を実施しました。

次に、「ペンギンテラス」は、文化祭に展示をする作品の準備を中心とした活動を行いました。

次に、高齢者教育です。シニア講座Ⅰとして、「健康に生きる、地域で支え合う～いつまでも自分らしく暮らすために」を全3回で実施しました。3回の講座を通じて、いつまでも地域で自分らしく生きていくヒントを学び、参加者からの質問や実際の困り事を共有する時間も設け、地域の方々のつながりをつくる機会ともするため、実施いたしました。

参加者からは、「包括支援センターの仕事がよく分かり、勉強になりました」「幅広い見識をお持ちの講師による解説が心に響きました。居場所となる公民館の重要性を感じました」「フレイル予防のセルフケアなど、高齢者に寄り添った内容だったので、非常に勉強になりました」などの感想をいただきました。

次に、4ページをお願いいたします。展示会です。ロビー展として、「谷川俊太郎～ことばの力」を実施しました。さきに報告いたしました特別講演会の関連展示として、詩集や絵本、作詞や朗読など多岐にわたる創作活動をしてきた谷川俊太郎の作品を85点展示いたしました。谷川氏が残した言葉の力、平和への思い、子どもたちへの温かいまなざしなどを改めて感じてもらうことができたと考えております。

次に、市民文化祭です。第4回の実行委員会が開催され、今回が文化祭前の最後の委員会で、部門別に分かれて検討などを行った後、最終確認を行いました。

最後に、会議、広報は記載のとおりです。

西部公民館の報告は以上です。

○稻留委員長　　ありがとうございます。　最後に、小川北部公民館長お願いします。

○小川北部公民館長　　続きまして、北部公民館です。5ページをお願いいたします。

初めに、成人教育です。文化教室Ⅱとして、「『はじめてのマジック体験教室』～ご家族のイベントやご友人との会合で披露してみませんか～」を実施しました。昨年は小学生

を対象に実施したマジック教室を今年は個人の活動の場に広げるとともに、身近にあるものを使って道具を作り、簡単にできるマジックを大人向けに全4回実施し、家族や友人に披露することを目的としました。

1回目と2回目の教室で6種類のマジックを学び、3回目の教室では復習し、その後、グループごとにマジックの発表もしました。また、希望制ではありましたが、最終回の4回目は北部地域文化祭のわくわくまつりの子ども向けイベントであるスタンプラリーの1つとして、発表会を実施しました。発表会への出演者は5人で、教室の参加者の半分以下の人数でしたが、本番は緊張しながらもスポットを浴び、たくさんの観覧者の前で堂々とマジックをやり遂げていました。

また、講師からの提案で、観覧者も参加できるワークショップを2回に分け、合計3種類のマジックを行い、会場が一体となって楽しめるプログラムとなりました。教室参加者からは、今後も続けたいという話も出ており、サークルになる可能性もあり、熱心に取り組んでいたことが伺えました。

ワークショップでは、親子が一緒に楽しく学ぶ様子が多くあったので、次年度は、親子のマジック教室の実施も視野に入れ、今後も継続していきたいと考えております。

次は、成人学級「サステナブルを学ぶ会2025」です。10月14日に文化祭に展示する掲示物の内容であるスプレー缶やモバイルバッテリー等、有害ごみの捨て方の問題について、クリーンプラザふじみ見学会の様子のビデオを見て、内容を確認した後に展示する掲示物を作成しました。

続いて、成人学級の「Multicultural Study Group」です。9月の活動の際に、JIC A海外協力隊として、ベリーズで活動していた体験談を話された調布市在住のお2人から、食の異文化交流を学ぶということで、たづくりにて、実際に会員も一緒にベリーズの伝統料理を作り会食し、ベリーズについて、さらに学びを深めました。

続いて、高齢者教育、いきいき講座Ⅱ「転ばない体をつくろう！かんたんロコモ体操」です。講師は、健康運動指導士の高松光子さんです。ロコモティブシンドロームは、加齢や生活習慣によって、骨、関節、筋肉などの運動器の機能が低下し、歩けない、立ち上がれないといった日常生活に支障を来す状態をいいます。そのロコモティブシンドロームを防止するための呼吸法や、ストレッチ、音楽に合わせて椅子を使った運動や筋力トレーニングなどを学びました。講師から、動きに合わせて、どこの筋肉を今使っているのか、鍛えているのかという説明がありました。

残暑が厳しい時期ではありましたが、参加率も高めでした。年1回、全3回での実施は、大事に参加する方が多いように感じました。また、今年は男性の参加者も増加しており、今後も参加しやすい雰囲気を大切にし、実施していく予定です。

続いて、家庭教育です。まず、ファミリーコンサートの「0歳からパパママいっしょに音あそび～ピアノ・マリンバ・読み聞かせ～」です。濟木美千子さんと石川智映子さんを迎える、子育て中のファミリーを対象にコンサートを実施しました。定員の2倍以上の申込みがあり、マリンバの優しい音色に合わせての絵本の読み聞かせや紙芝居、体遊び、リズム遊び、楽器に触ってみようなど、盛りだくさんの音あそびの世界を楽しみました。

参加者からは、「親が癒されました。子どもが楽器に触れることができて、うれしかったです」などの感想をいただきました。

今後も実施していきたいと考えておりますが、多くの落選者がいるため、0歳児から2歳児までの子育て世帯対象というように限定して実施するなど工夫し、より多くの人が参加できる事業としていきたいと考えております。

次に、親子ふれあい教室Ⅱとして、「はじめてのリトミック～音楽と動きでリズム感・音感・表現する力を育てよう～」です。講師は、リトミック講師の永田衣里さんで、この教室も定員の2倍以上の申込みがありました。先生の声とピアノに合わせて、親子で歩いたり、走ったり、挨拶したり、音の強弱や高低を聞き分けたり、タンバリンや鈴などの楽器を鳴らしたりして、笑顔ではしゃぐ声も上がり、楽しんでいる様子でした。

近年は、ダンスと体操で、この教室を実施していましたが、より多くの方に親子ふれあい教室に興味を持ってもらえるよう、リトミック以外にも様々な形の教室を実施していきます。

続いて、6ページをお願いいたします。市民文化祭です。第5回役員会と第3回文化祭実行委員会を実施しました。各担当からの進捗状況や連絡事項、北部利用者連絡会役員からのお知らせ、部門別に分かれての避難経路や文化祭運営に関する最終確認を行いました。

次に、団体支援です。共催事業Ⅱとして、「紙遊びの会・折り紙体験～紅白椿を作ろう」を北部地域文化祭期間中に実施しました。定員10人に対して14人の申込みがありました。会員の増員を目的に実施した結果、受講者のうち1人が入会することになりそうだという話を聞いております。

最後に、会議、広報については記載のとおりです。

北部公民館からは以上となります。

○稻留委員長 ありがとうございました。今3館長からそれぞれ御説明がございましたけれども、皆さん御質問や御意見がございましたら。松田委員、どうぞ。

○松田委員 この公民館の使用状況の数字なのですが、長年携わっていらっしゃる方は、この数字を見れば、どこに問題点があるのか、どこがよかつたのか、分かるのかとは思いますが、私が見て全くこの数字が何を意味しているのか分からないので、その辺を何か説明していただくとありがたいのですが、この欄が問題点があったとか、よかつたとか。

○稻留委員長 それは、この横書きの使用状況……

○松田委員 利用状況ですね。よかつたのか、悪かったのか、問題があったのか、その辺が全く分からぬのですが。

○稻留委員長 いかがでしょう。丸山東部公民館長。

○丸山東部公民館長 もう既に終わっている内容ではあると思うのですけれども、今回だけちょっとお話をさせてもらえればと思います。

問題点というか、その時々によって登録団体だったり、有料団体というのは、もちろん使う曜日とかが決まっている団体は、継続的に使われております。

ただ、おっしゃるとおり、例えば新型コロナの場合は、少し落ち込んだりとかももちろんしますし、新しい団体、先ほどお話をさせていただきましたけれども、少し新しい団体で有料団体、前回のときに演劇だったり、音楽だったり、東部公民館のところについては増えてきていますというようなところは、見てとれます。

○松田委員 それはどこから見てとれるのですか。

○丸山東部公民館長 言葉でしかお話はしていないのですけれども、この中では、前年度の使用状況というのは、特に記載をしているとなると、冒頭にお話をさせていただいている各ページ、2ページ目の前年同月合計、例えば2ページ目のところの一番下にあると思いますが、まずは前年比という項目があって、その上に前年同月合計というものがあります。

合計の数字が下から4行目、例えば東部公民館ですと、274という数字がございます。下から2行目だと、前年同月合計ということで、245という数字がございます。前年比ですと、29単位増えている。右にすれば、人数が書かれておりまして、やはり下から4行目が1,796人の利用の方がいらっしゃいましたと。下から2行目が1,667人ということで、前年同月と比べると、129人の利用者的人数が増えているというところです。

それが東部公民館です。その隣が西部公民館、北部公民館がそれぞれ2項目ずつあって、

表の中の一番右側の一番上に当月分合計という項目がございます。下から4行目が単位なのですけれども、右から2番目のところに731という数字がございます。下から2行目のところに659という数字がございます。前年比、比べると3館ですと72単位という単位数が増加をしていて、その横については715人の人数が増えているというような表の見方で、全体の把握の数字をお示ししていて、先ほどの1番目の使用状況報告のところで、委員長のほうでも質疑応答はということで、「なし」ということで終了していますが、今後はそのときにお話をしていただくと、我々のほうでも多少、全部解析しているわけではないですが、この館についてはこういう項目、この館についてはこういう項目というのがそれぞれ全体を通して、増えた減ったというのはお話をすることはできると思います。

○松田委員 それが求めていた数字と、上回ったのか、下回ったのか、その辺の評価はどう……。

○丸山東部公民館長 では、ちょっと戻って、皆さんもよろしいでしょうか。

○稻留委員長 後の時間がありますから、手短にお願いします。

○丸山東部公民館長 手短にお話をさせてもらえば。東部公民館においては、50周年という節目の年で、登録団体の方が資料づくり等で活発に利用されたということがまず1点。

あと有料団体のところではあるのですけれども、前回のときにお話をさせていただいた演劇と音楽のところが新たに利用開始をして継続して多く利用されたということになります。

○稻留委員長 個々の館は似たような話ですからいいと思いますが、私の感触から言えば、まず今御質問のあった目標はあまり設定していないのではないかと思うのです。今まで説明を聞いたことはございませんから。だから、その目標に対してどうのこうのという評価はないと。ただ、数字を見ていくと館によって人数の多寡があったり、利用団体の多い少ないはあるわけです。それはそれぞれの館の立地条件というか、館の構造とか、そういうのがあるのです。

例えば東部では音楽関係は非常に少ないとと思うのです。だけれども、西部とか北部などでは非常に多いというのは、やはりそういう設備があるところです。そういうことで、多寡が出ます。それから、やはり先ほどのようにインフルエンザがあったとか、特定なことがあったから前年より増えたとか減ったとか、そういう流れを見ると。そういうことであって、これによって問題があったか、なかったかということについての判断材料には多分

ならないと思います。どうぞ、清水委員。

○清水委員 今、使用状況報告のほうに戻ってしまったのですけれども、使用状況報告の数字もあれですが、私はこっちの事業報告の中の参加者の部分の数字も見せていただきながら、例えば参加したかったのに抽選で漏れてしまった方ですとかという数字もあるわけなのです。ですので、やはりどれだけ多くの方々が公民館に来ていただいて、公民館で学んだことを公民館活動を通して、どうやって社会に波及をしていくかというところが非常に重要なのではないかと思っています。

質問なのですから、今回、東部公民館館内案内図を配付していただいたので、ちょっと拝見をさせていただいて、8,000万円余をかけてエレベーターが造られたことですか、予算がない中で、300万円以上が修繕にこれから使われていくですか、非常に公民館は厳しい財政にある中で、これだけ東部公民館もよくなりましたので、ぜひ皆様には利用していただきたいと思っています。

東部公民館に関してなのですから、場所が限られているので、フリースペースというものが無いというのが非常に残念だなと思っています。保育室に関してなのですから、保育というニーズが昨今、需要がなくなりつつあるのではないかということを私は過去に申し上げたことがあります。

というのは、近年、インターネットが普及したことで、自分で学びたい子育て世代は、オンラインで学べる環境が構築されました。ですので、保育つきの公民館の事業に参加するという方も中にはいらっしゃるかもしれませんけれども、北部公民館の家庭教育の催しのように、親子で一緒に参加できる催しの需要が高まっているのではないかというような見方をしております。

ですので、この10月を拝見しても、1か月の話ですけれども、保育をやったのは1日ということで、保育室は1日しか使っていないのかどうなのかというところをまずお尋ねしたいと思います。

○稻留委員長 丸山館長。

○丸山東部公民館長 今、保育付事業というのは、すべてというわけではないので、そこは経験豊富な専門員が考えて、保育つきが必要だよね、必要ではないよねというのは判断をしながらやっているところが現状です。

ですので、使われるときが限られるというところはもちろんありますが、ただ、保育付事業だけではなくて、夏の時期に赤ちゃんと一緒にということで、開放して、お母様同士

が話し合ったりする場であるとかという使い方もしているのが現状です。

料理とかもそうなのですけれども、やはりYouTubeだけでは見られない、体感ができるものというのは、こういう対面式であるというのは非常に重要な要素というか、ファーだと私は思っているので、継続してやっていければと思っています。

以上です。

○稻留委員長 よろしいですか。

○清水委員 保育室は今後も必要であるという考え方をお持ちだということだと認識しました。やはり場所に限りがありますから、なかなか難しいと思うのですけれども、やはりいろいろな方に来ていただきたいと思うと、フリーのスペースの充実を求めるところなのですが、スペース的になかなか難しい。例えば屋上のところを部屋にできないのかなとかと思ってしまったりするのですけれども、それにはお金がかかるということであれば、また予算要求とかもさせていただきたいと思いますので、何かアイデアがあれば。

○丸山東部公民館長 それは多分、建築法違反、基準が建ったときと現状は違いますので、実際にエレベーターを建てるときも、今までにはひさしがありましたけれども、昭和50年代に建てたときには問題はなかったのですが、エレベーターを建てるこことによって、そこが違法という形になるということで、そこは削られているはずです。

今、確かにひさしを階段のところにつけてほしいという要望はありますけれども、今の建築基準法では多分無理なのです。逆に上に何か建てたいというところだと、今度は荷重の計算が変わってくると思うので、できることとできないことがあるので、そこはちょっと難しいと思います。そこははつきり申し上げておきます。

○稻留委員長 3時15分からは次のもありますので、手短に。では、川上さん。

○川上委員 フリーのスペースで、誰もが集まるスペースというのは本当にあったらいななど。特に東部さんはこれだけ厳しい状況なので、そこは同感です。

ただ、子育てるお母さんたちにとって、保育つきの講座は、もちろん学ぶチャンスはいろいろ増えてはいますが、対面でつながり合うということは、とても大事だと私は思っています。

かつて公民館の講座に出たお母さんと最近ばったり会ったのですが、あのときの仲間は今でもつながっていますと本当に感謝されました。そういうこともありますから、人数だけではなく、やはり若いお母さんたちがつながり合う、そういう場所、スペースは必要だと思っています。

ただ、そのために、それ以外使えないという状況は、もしかしたら考えようはあるかも
りませんけれども、そこだけちょっと意見させていただきました。

○稻留委員長 よろしいでしょうか。誠に申し訳ございませんが、3時15分から研修会
があるので、そのこともあるので、次の議題にさせていただきます。

(3)地域文化祭の開催について、最初に丸山東部公民館長から説明願います。

○丸山東部公民館長 地域文化祭について御報告いたします。

開催期間は3公民館共通で、10月25日土曜日から11月2日日曜日まで、月曜日の休館日
を除いた8日間で開催しました。

それでは、初めに、東部公民館のプログラムをお願いします。今年は開館50周年の記念
の年であり、2大イベントのうち、6月の記念フェスティバルと同様、地域文化祭も大盛
況のうちに終了しました。

1ページを御覧ください。右下段、「ロウソクに火を灯そう」は、初日からスタンプが
多く押され、3日目には50本のろうそくに火がともりました。

次に、ちょこポイントラリーは、記念グッズのかかるたが一番人気でした。このかるたは、
札はもとより、ケースも全て手作りしたもので、今回手にできなかつた方は、来年2月に
発行予定の記念誌「とぶと～ぶ」に作成に必要なデータをダウンロードできるページを御
案内する予定です。

2ページを御覧ください。オープニングイベントでは、トップバッターに地域連携を深
める桐朋女子中・高等学校による桐朋女子＆キッズダンスで華々しく幕を開けました。恒
例の神代高等学校吹奏楽部にも演奏をいただきました。

今年の出張販売では、継続して木島平マルシェ、新たに希望の家の毛糸で作成した小物
販売も実施しました。希望の家の職員からは、希望の家の存在を周知することができた上
に、小物も多く売れて大変ありがたかったとの声をいただきました。

すまいるパンは、限定のちょこぽんのチョコパン、クリームパンを求め、今回も開店前
に行列ができ、約150個のパンは完売しました。

フィナーレでは、会場は立ち見の方が出るほどで、熱気に包まれました。また、ちょうど20年前、30周年記念の地域文化祭の実行委員長で、合唱の登録団体で活動されていた方
が、現在は体調を崩している中、親族以外の地域の方の協力を得て、50周年という節目の
年に、仲間の晴れ舞台を目に焼き付けるために車椅子で来館されました。仲間たちは声を
かけ、その場にいたほかの方にも紹介し、そんな姿を見て、改めて先人の職員たちが大事

に育ってきた地域との関わり方などがずっと続いているのだな、つながっているのだなと感動しました。

最後の催しで、今年の目玉でもある大抽選会では、登録団体である、吹き矢での的を射る方式で1等に木島平産の新米も当たると、多くの方に参加いただきました。

加えて、一般に販売がされるほどの価値がある書を制作する作者から、過去に当館内で展示した作品を公民館でお役に立ててほしいとのお気持ちを受け、50周年という記念の年に特別に前後賞を設け、参加された皆様に還元しました。

4ページを御覧ください。最上部、3部署のコラボ企画、「わくわく！ミニサーカス」では、前日の雨で屋外での開催も危ぶまれましたが、当日は子どもたちもステージに参加するなど、合計約260名の方が世界でも活躍するパフォーマーの演目に興奮しました。イベントに参加した子どもたちには、公民館でジュースをもらえる券を用意したこともあり、サーカス終了後は、多くの子どもたちで館内はあふれ返っていました。

来館した方には、「ちょこぽんを探せ！」や、ちょこぽん缶バッヂ作りと畳みかけるようにイベントを実施することで、ふだん利用しない方や子どもたちにも喜んでいただくとともに、公民館という施設の周知が最高にできたと感じました。

地域連携の桐朋女子には、コンシェルジュもしていただきました。

また、下段の動画上映については、調布駅前の中央公民館及び噴水も含めたその周辺や、36、37年前に、当時、中央公民館に勤務していた職員が撮りためた貴重な映像は必見でした。当時は、市民文化祭の開会式が執り行われるほど広いホールで、壇上では懐かしい黒板を使った事業を行えば満員。御来館いただき、映像を見られた方は、現在の調布駅前では想像がつかない方、一方、懐かしく当時を思い出した方、様々な方がいらっしゃいました。

これだけのボリュームで、かつ大阪万博にも劣らない熱量で50周年の東部地域文化祭は大盛況のうちに終了しました。御協力いただいた全ての関係者、参加者市民にとって、記憶に残る大イベントであったと確信していますし、この場を借りて、全ての方に感謝申し上げます。

現在、東部公民館に勤務する職員全員が口をそろえて言うことは、50周年、半世紀という節目だからこそできたと。私もこれと同等、あるいは超える地域文化祭は50年後となることでしょう、そう感じさせるほどのイベントとなりました。

東部公民館は以上です。

○稻留委員長 次に、福澤西部公民館長お願ひします。

○福澤西部公民館長 続きまして、西部地域文化祭について報告いたします。

期間中、天候に恵まれたとは言い難い状況ではありましたが、学習室やロビーでの展示とともに、サークル体験や主催事業の実施、そのほかにも和室や1階の児童館遊戯室、集会室も活用し、粗い集計ではありますが、前年度に比べ多くの来場者があつたこともあり、活気に満ちた文化祭とができました。

それでは、西部地域文化祭のパンフレットをお願いいたします。今年度のテーマは、昨年度に引き続き、「世代をつなぐ 文化と仲間」とし、実施いたしました。

会場入り口には、西部公民館全ての登録団体が関わって1つの作品として作られた大作が出迎えてくれました。

それでは、パンフレットをお開きください。まず、体験事業のうち、黄色地で記載しております料理系サークル、4サークルによる料理発表が行われました。コロナ禍で一時期、提供できない時期もありましたが、今年も日頃の活動の成果として、ラーメンやラザニア、シフォンケーキなどバリエーションに富んだ料理の提供を行うことができ、連日大好評となりました。

「料理発表の食事を楽しみに来ました。今回も満足の味でした」との感想をいただきなど、料理発表を楽しみに来館する方も多くおられました。

このほかの体験事業では、緑地で記載されておりますが、10月25日の「ヨガサークルスタート」や、29日にはお茶会を開催した「蒼天会」、30日にはみんなで歌った「調布deシャンソン」や、最終日には児童館1階を活用した「たま川太鼓」などの事業が実施されました。

これだけ多くの体験事業の実施は文化祭ならではであり、各サークルの活動の様子を見て、体験してもらうことで、サークルへの入会につなげられる絶好の機会となっております。

体験事業以外として、10月26にくつろぎコンサートを実施しました。コンサートに先立ち、姉妹都市の木島平村のアンテナショップ新鮮屋さんの野菜やおやきなどの出張販売が行われ、非常にぎわっていました。

コンサートでは、合唱、演奏、和太鼓などのサークル、9団体によるバラエティーに富んだコンサートとなりました。その中には、西部児童館で活動をしている小学生の「西部ダンスサークル」にも出演していただき、多くの保護者や関係者の方々にも来場していました

だきました。

来場者からは、太鼓の迫力ある演奏や、児童館の子どもたちによるダンスのかわいらしさ、出演者たちの生き生きと楽しそうな姿、このようなものに対するコメントが多く、楽しんでいただけたと考えております。

次に、主催事業では、青地で記載しておりますが、10月25日の「みんなで折り紙」、11月1日の「電車好きあつまれ！」、2日の「ボッチャを楽しもう」を実施いたしました。

パンフレット裏面をお願いいたします。展示になります。昨年度と同じく、ロビーと第2学習室を展示スペースとしましたが、見やすい展示を心がけることを念頭に、各サークルが展示位置や作品の配置、点数などについて工夫をいたしました。

絵画や書道、手編みや革工芸などバリエーションに富んだ展示となり、じっくり時間をかけて見ていている方も多く見受けられました。

来館者からは、「すばらしい力作ばかりだった」という趣旨の意見が多く、ほかに「展示が見やすかった」「とても楽しかった」「感動した」という声もあり、全体として好評という結果になりました。

また、例年行っております地域のコーナーを継続して配置し、地域にある福祉作業所や団体、明大明治や地元の中学校などが作品の展示を行っていただき、地域との連携を強めるきっかけとなる内容となりました。

「地域の団体を展示、公民館らしく、とても楽しいです」「高校生の出品など多年代の方の作品が見られ、バラエティー豊かで楽しめた」などの感想をいただきしており、来年度も拡大、継続して展示を行いたいと考えております。

また、玄関展示や階段アートでは、近隣の保育園から様々な工夫を凝らした元気いっぱいの作品が、また、第五中学校からは、平和をイメージした階段いっぱいの作品をそれぞれ展示していただきました。「階段アートは明るくて、登りたくなる作品ですばらしい」との感想も寄せられました。

階段アートにつきましては、文化祭終了後も継続して掲示し、お越しただけなかつた方にも雰囲気を感じていただければと思っております。

また、例年実施しておりますサークルの作品を題材にした折り紙や革小物などを制作し、アンケートのお礼とし、配付いたしました。

最後に、文化祭全体を通しての意見としては、「様々な活動があり、多くの方が活動していることが分かりました。私も何か楽しく頑張ろうと思いました」「多世代のグループ

の発表の場があるのは、地域の活性化に有効だと思います。すてきな作品を拝見できてよかったです」 「近くにありながら、こんないろいろな活動をしていることを知って、とてもよかったです」 「地域に根差す活動がずっと続いていることの大切さを知りました」など、好印象を持っていただいた方が多かったと考えております。

今後も地域の集いの場である文化祭を通じて、地域の輪を広げ、世代交流とともに、次の世代にもつなげていければと考えております。

西部公民館からは以上です。

○稻留委員長 ありがとうございました。では、最後に、小川北部公民館長、お願いします。

○小川北部公民館長 続きまして、北部地域文化祭について報告いたします。

今年は初日が雨で、そして12月の気温という肌寒さを感じる中でのスタートとなりましたが、オープニングのチアダンスの発表を公民館前庭で予定どおり行い、展示、発表、体験教室、わくわくまつりなどのイベントについては、北部公民館内の各部屋と隣接する上ノ原公園を使用して実施しました。館内は、地域の方々が装飾を施してくれました。また、記録としては、例年担当の登録団体の方がアルバムを作成しています。今年度も事故やけが等なく、盛況のうちに無事に終了いたしました。

それでは、北部公民館のパンフレットをお願いいたします。パンフレットをお開きください。

例年日曜日に実施している北の杜わくわくまつりですが、今年は地域の行事との兼ね合もあり、初日の10月25日土曜日に実施しました。土曜日かつあいにくの雨天とはいえ、多くの子どもや大人が集まりました。

ポニーと一緒に甲州街道まで散歩するまち歩きと、残念ながら午後は中止となってしまいましたが、上ノ原公園でのポニー乗馬体験と触れ合い体験、射的、ディスゲッターナイン、畳の部屋で椅子に座り、子どもがお茶の作法を体験するドキドキ子どもお茶席、マジック発表、カードゲーム大会と、計6つのイベント会場を回るスタンプラリーには198人が参加しました。

今回初めて実施しましたマジック発表会では、先ほどの事業報告でも報告しましたが、簡単なマジックを学ぶこともでき、受付テントや事務室に覚えたばかりのマジックを見せに来てくれた子どももいました。

昨年度に比べて、来場者数は減っているものの、活気に満ちたイベントとなりました。

次に、発表部門です。パンフレットの右側をお願いします。

26日の日曜日以降も、朗読公演やコーラス発表、体操やストレッチの実習体験、先ほどの事業報告でも報告しましたが、紅白椿を折り紙体験で作成したことにより、会員の増員につながったという話も聞いています。

また、赤ちゃんから大人まで楽しめる絵本と本の展示とおはなし会には、平日ではありましたが、未就学の子どもを連れた親子も来館し、おはなし会では最後まで真剣に聞き入っている姿が見られました。

「画塾北社会」の絵画体験は、屋外テントで実施予定でしたが、当日は雨という予報も出ていたことから、急遽、館内に場所を変更しての実施となりました。こちらも会員の増員につながったという話を聞いております。

11月1日以降は、地元農家の朝採り野菜とお花の販売、調布産ラベンダーを使ったサシェ、匂い袋作りを屋外テントで実施し、ベンチャーズサウンドのバンド演奏、ドラム演奏、ウクレレ演奏やゴスペルコーラスなど、防音機能のある第3学習室で活動している団体を中心に日頃の活動の成果を披露しました。

続いて、展示部門です。パンフレットの裏面をお願いします。

会場の入り口には、調布城山保育園の園児による秋をテーマにした作品、展示ギャラリーには陶芸、折り紙、絵手紙の展示、1階廊下の壁面には、先ほどの事業報告でも報告いたしました成人学級「サステナブルを学ぶ会」のスプレー缶やモバイルバッテリー等有害ごみの捨て方の問題に関する写真を取り入れた展示をしました。

美術室では、健全育成推進上ノ原地区委員会、上ノ原まちづくりの会、えどうみどり子ども会、深大寺通り商店会による各々の地域活動の展示をし、近隣学校の展示としては、神代中学校の美術部、晃華学園の高校1年生の生徒が人物画などの絵画作品を展示しました。

2階の学習室では、絵手紙、陶芸4団体と絵画2団体の展示、2階廊下の壁面には絵手紙と成人学級「Multicultural Study Group」の外国人とやさしい日本語で話そうに関するイラストを交えた展示、廊下の窓側には、上ノ原地区子ども生け花教室の上ノ原小学校6年生の児童を中心とした生け花を展示しました。

展示部門においても、日頃の活動の成果を見ていただけたのではないかと考えております。

1年で最も大きなイベントである北部地域文化祭を通じて、観覧された皆様にはお楽し

みいただき、参加された皆様には、より活気のある活動の契機となっていればよいなと思っております。

また、公民館としては、より地域の輪が広がり様々な出会いが生まれるよう、地域に根差した事業運営に努めてまいりたいと考えております。

北部公民館からの説明は以上になります。

○稻留委員長 お疲れさまでした。これで3館の文化祭に関する説明がございましたけれども、時間の関係もありますので、ぜひということであれば、御質問を……どうぞ。

○大槻副委員長 ぜひというよりも、1回で済ませます。今回、調布市が70年ということ、それに要は合致したこと、そして東部さんに関しては50年ですね。こういった形がありましたが、東部さん、西部さん、北部さん、皆さんとのところ、今回もですけれども、サブテーマ、テーマをしっかりとつけて、そしてそれにのっとったプログラムを実行できたと私は思います。

あとはもうこれを来年、再来年、またずっと続きますので、継続ということで、よろしくお願いしたいと私は思います。

以上です。

○稻留委員長 よろしいでしょうか。

(「なし」の声あり)

では、申し訳ありません、次の議題に進ませていただきます。

(4) 桐朋女子中・高等学校との地域連携（調布市青少年表彰受賞）について、丸山東部公民館長から説明願います。

○丸山東部公民館長 それでは、桐朋女子中・高等学校との地域連携（調布市青少年表彰受賞）について御報告いたします。資料3をお願いいたします。

最初に1、調布市青少年表彰については記載のとおりです。

裏面を御覧ください。3、連携のきっかけは記載のとおりで、令和3年3月に東部公民館を取材したことが始まりです。

4、連携の実績においては、次年度の令和3年度から連携事業が始まり、令和5年度は10事業と最大となりました。事業の中には桐朋女子中・高等学校の教室において、生徒の授業に参加させていただき、共に学ぶこともあることなど、令和7年度現在も相互協力関係は継続しております。

5、資料については記載のとおりです。

受賞したことについては、担当教諭はもとより、理事長及び校長も大変喜んでおられ、校長から全校生徒に報告をしていただけるということで伺っております。この機会を大切に、さらなる相互連携強化を目指してまいります。

説明は以上となります。

○稻留委員長 これからもよろしくお願いします。

それでは、次に、日程第2 協議事項(1) 令和8年度調布市公民館事業計画（素案）について、丸山東部公民館長お願いします。

○丸山東部公民館長 それでは、令和8年度調布公民館事業計画（素案）について御説明いたします。

まずは東部公民館です。1ページをお願いいたします。主に下段の項目について御説明いたします。

1の青少年事業につきましては、青少年が安心して楽しく学べる学校以外の学習環境の中で、テーマ性と連續性を持たせた東部ジュニア教室を実施し、同じ学習テーマを連續して学ぶことで、興味関心を共有できる異年齢の仲間づくりを支援してまいります。

2の高齢者事業につきましては、高齢者が抱える不安の解消や知っておきたい制度を学ぶ高齢者対象講座や参加者同士の交流を意識したシルバー教室を実施し、高齢者の健康づくりや生きがいづくりを支援します。

3の家庭教育事業につきましては、家庭が円満になる方策や子育ての悩みの解消や軽減など、実際生活に即した学習テーマの家庭教育講座を実施し、参加者の仲間づくりや共同学習・相互学習の活性化を支援します。

4の成人教育では、市の施策の推進を学習面からサポートする企画、地域資源を活用した企画、地域課題や生活課題を題材にした企画、関係機関・団体等と連携・協働による企画を実施します。その他の企画については、公民館の利用が少ない層の参加と利用促進につなげることを狙いに実施します。

5の国際理解教育では、常に変化する国際社会や多様な文化への理解を深める講座を実施し、国際交流や多文化共生の地域づくりを促進します。

このほか登録団体や利用団体の学習活動の発表の場、学習活動を通じた地域交流の場として、東部地域文化祭を実施し、地域の学び合いの場を広げてまいります。

令和7年度に東部公民館は開館50周年を迎え、記念キャラクターちょこぽんが誕生しました。そのちょこぽんが2大イベントである記念フェスティバル、地域文化祭を含む様々

な機会で活躍しましたので、引き続き活躍の場を広げてまいります。

また、当館との連携において、桐朋女子中・高等学校が、先ほどの青少年表彰を受賞しました。連携継続はもとより、様々な地域資源とのさらなる連携強化に努めてまいります。

東部公民館は以上です。

○稻留委員長 次に、福澤西部公民館長お願ひします。

○福澤西部公民館長 続いて、6ページをお願いします。西部公民館です。

西部公民館では、持続可能な地域コミュニティーの拠点として、公民館活動を推進するため、市民講座、地域文化祭などの参加型の事業を、そしてサークル活動の支援を展開していきます。

令和8年度にあっては、教育プランなどに示された方針、地域の要望や課題を踏まえた事業を実施するとともに、令和5年度の開館40周年、そして市制施行70周年を契機に地域の再発見、再確認などを地域と意識し、地域との連携に引き続き取り組んでまいります。

施設面では、利用者に安全で快適な学習環境の提供をするため、施設の老朽化に対応した市の整備計画に合わせた改修、修繕を進めてまいります。

それでは、主な事業ですが、まず1として、青少年教育事業については、子ども科学教室や天文学教室など障害やハンディキャップがある子どもを含め、子どもたちが健全に楽しく安心して学べる事業の展開を図ります。

次に、2として、成人教育事業については、コミュニティカレッジや芸術講座など、福祉、環境、歴史、経済、防災などにおける様々な分野で、現代社会や地域の出来事に関連する講演会、講座を実施します。

次に、3として、平和フェスティバルを中心事業とした市民と共に平和について考え、伝え合う平和事業を実施いたします。

次に、4として、高齢者教育事業については、歴史散歩やシニア健康講座など、高齢世代の生活に密着した健康・福祉・生きがいなどの課題に対応する事業を展開します。

5として、家庭教育事業については、子育て中の世代が地域や子育てについて幅広く学ぶとともに、参加者同士の交流も視野に入れた子育て支援事業を展開します。中でも、中心的事業となる子育てセミナーは、子育て中の保護者が仲間とつながりながら子育てや生き方を学ぶ、そして参加者同士のつながりを大切にすることは変わることなく、7年度の実績を踏まえ、事業内容や回数を見直して実施してまいります。

また、6として、国際理解教育事業については、常に変化する国際社会について、異国

の生活、文化や歴史などに目を向け、理解を進めるとともに、交流を深めるための事業を実施いたします。

最後に、7として、公民館登録団体の独自性・自主性を尊重し、各サークル活動の育成と支援に併せ、学習成果の発表、還元とともに、地域交流の推進を目的に実施する地域文化祭を一層充実・発展させていきます。

個々の事業内容については、7ページから10ページに記載しておりますので、御確認をお願いします。

西部公民館は以上です。

○稻留委員長 最後に、小川北部公民館長お願いします。

○小川北部公民館長 北部公民館の周辺では、上ノ原まちづくりの会や健全育成推進上ノ原地区委員会など様々な地域団体が活発に活動しております。

令和8年度においては、教育プランや社会教育計画の最終年となり、そちらのほうを踏まえながら、学びを通じた人づくり・つながりづくり・地域づくりを実現するため、地域住民の相互学習・交流拠点として、地域に根差した公民館事業を展開してまいります。

主な事業について御説明いたします。

1の青少年教育事業については、上ノ原公園で昆虫や植物、夜空の星を観察する講座など、子どもたちが様々な体験を通して楽しく学び、仲間づくりに役立つような事業を実施いたします。

2の成人教育事業では、地球環境、歴史、科学に関する講座など、豊かで文化的な人生を送るための事業を実施いたします。

3の高齢者教育事業では、ロコモ体操など、高齢者がますます健康を増進し、楽しく和やかに学べる事業を実施いたします。

4の家庭教育事業では、0歳から参加できるファミリーコンサートや親子ふれあい教室など、子育て中の若い世代が親子の触れ合いを図りながら、安心して子育てができる事業を実施いたします。

5の国際理解教育事業では、世界の国々の歴史や現状を学び、世界を考え、多文化交流、共生に関する事業を実施いたします。

6の平和事業では、平和を守り継続していくことの大切さなど、子どもを含めた市民と共に平和について考える事業などを実施いたします。

7の北部地域文化祭では、文化祭実行委員会と連携し、地域のつながりづくりや地域コ

ミュニティーの活性化を図ります。

8の地域連携事業では、地域活動団体や関係機関と連携し、地域課題や生活課題を題材にした事業などを実施いたします。

個別の事業内容の詳細については、11ページから15ページにかけて記載がございますので、後ほど御覧いただきますようお願ひいたします。

北部公民館からは以上となります。

○稻留委員長 お疲れさまでした。今の3公民館からのお話について、特に御意見がございましたら、どうぞ。よろしいですか。

(「なし」の声あり)

それでは、御意見はございませんので、議題は一応これで終わりですね。

では、日程第3 その他(1)次回の定例会開催日程について、丸山東部公民館長から説明願います。

○丸山東部公民館長 次回定例会の予定です。令和8年1月27日火曜日午後2時から令和8年第1回定例会を西部公民館で開催いたします。

詳細につきましては、追って通知をさせていただきます。

説明は以上となります。

○稻留委員長 寒いさなかですね。その他、ほかに各館から特にござりますか。

(「なし」の声あり)

よろしいでしょうか。特にないということですので、これで本日の日程は全て終了いたしました。

これにて、令和7年調布市公民館運営審議会第6回定例会を閉会いたします。

引き続き、令和7年調布市公民館運営審議会研修会を開催いたしますので、準備が整うまでしばし、お待ちください。

ありがとうございました。

閉会 午後3時17分